

平成20年度 愛知県立刈谷東高等学校 通信制

漢詩創作講座 受講生作品発表会

愛知県立刈谷東高等学校では、今年度から、漢詩の創作講座を開講しました。

漢詩は中国で発展した文学ですが、日本でも中国との文化交流を経て、奈良・平安の昔から日本人自身の手で作られて来ました。特に、江戸時代から明治時代にかけては数多くの漢詩人が輩出し、俳句や短歌と並び、日本の古典詩史の中で重要な柱となっています。

近年は漢詩を学ぶ機会も少なくなり、また漢詩固有の規則に馴染みにくいために、自分で創作するという習慣はあまり見られなくなりましたが、基本的なポイントを理解さえすれば、高校生程度の学力で十分に創作を楽しめるものです。

今年度の受講生は皆、初めて漢詩創作に取り組んだ人たちばかりですが、月1回程度の講義を受ける中で形式の整った漢詩を自作できるようになりました。

1年間の学習の成果を発表する場として、以下の日時で作品発表会を開催します。

当日は、全日本漢詩連盟会長の石川忠久先生から記念講演もいただきます。

漢詩に興味をお持ちの方、お気軽にご来場ください。

平成20年度 愛知県立刈谷東高等学校 漢詩創作講座 受講生作品発表会要項

会場 刈谷市立中央図書館 大会議室

日程 平成21年1月31日(土)

12:45 ~ 開場

13:00 ~ 漢詩の基礎 解説

「漢詩創作講座」担当教諭 鈴木淳次

13:30 ~ 生徒作品発表会

受講生徒による自作漢詩の朗読

14:30 ~ 特別講演

『漢詩の楽しみ』

全日本漢詩連盟会長・全国漢文教育学会会長

漢字文化振興会専務理事・前二松学舎大学長

石川忠久先生

16:00 閉会

後援 漢字文化振興会 全日本漢詩連盟

参加費は無料です。講演会のみに参加もできます。

できるだけ公共交通機関をご利用ください。お車でお越しの方は、刈谷東高校に駐車してください。

お問い合わせは、刈谷東高校通信制(0566-21-3349)鈴木淳次まで。

特別講演

『漢詩の楽しみ』

石川忠久 先生

東京都出身。東京大学文学部中国文学科卒業、同大学院修了。

桜美林大学、二松学舎大学大学院にて教鞭を執られ、

平成13年より17年まで二松学舎大学学長。

桜美林大学名誉教授、二松学舎大学名誉教授、文学博士。

全日本漢詩連盟会長・全国漢文教育学会会長、漢字文化振興会専務理事

NHKテレビ『漢詩紀行』を永年にわたって担当、

現在も全国各地で講演を続けられ、漢詩普及に努めておられます。



受講生作品例 一
一步山萬 聲葉腹紅 孤空楓千 雁林帷谷 暮人映弄 雲跡夕風 長絶陽光

受講生作品例 二
遠閑赤雨 山步卒余 摇風群小 落清飛径 弄吟满草 秋興野花 光好塘香

ご著書は、『新 漢詩の世界』『新 漢詩の風景』『漢詩の作り方』(大修館書店)『漢詩への招待』(文春文庫)『詩経 上中下』(明治書院・新釈漢文大系)『漢詩紀行(一)~(五)』『春(夏秋冬)の詩100選』(NHK出版)『漢詩のこころ』『漢詩の楽しみ』(時事通信社)『石川忠久著作選』(研文出版)など多数